

## 英米文化研究会役員（令和2年度）

会 長：日影 尚之（2012年～）

副 会 長：犬飼 孝夫（2012年～）

理 事：中山 理（2009年～）、渡邊 信（2010年～）

庶 務：田中 俊弘（2012年～）

会 計：佐藤 良子（2018年～）、Richard John Walker（2018年～）

会計監査：望月 正道（2012年～）

編集委員：A. Nicolai Struc（2012年～）、高本 香織（2015年～）、Andrew S. MacNaughton  
（2016年～）、花田 太平（2017年～）、Jason M. Morgan（2017年～）

## 令和2年度の活動

### 令和2年

9月30日（水）『麗澤レビュー』第26号刊行

### 令和3年

2月13日（土）総会（メールにて）

## 編集後記

『麗澤レビュー』26号の編集後記で新型コロナウイルスについて書いてから1年が経ちました。今年に入ってから日本でもワクチン接種が始まりましたが、残念ながら、現在第5波の真っ只中です。毎日発表される新規感染者数は、ついに8月上旬に東京で5000人を超えました。東京は年明けからはほぼずっと緊急事態宣言が続いており、つい最近また宣言が延長されました。

新型コロナウイルスの出現により、大学のあり方にも大きな変化がもたらされました。授業はオンラインと対面を臨機応変に使い分けるようになり、研究会や会議などもオンライン開催が一般的になりました。教員も学生もこのパンデミックの大きな波の中で、新しい生活様式に適応しながら、最善の方法を模索する毎日を送っています。この『麗澤レビュー』27号はそんな新型コロナとの戦いの真っ最中に刊行されています。素晴らしい研究成果をご投稿くださった著者の先生方に心から感謝を申し上げます。

最後に、昨年度をもちましてご退職なさった町恵理子先生にも感謝を申し上げたいと思います。町先生は、長い間日本の異文化コミュニケーション研究を牽引していただきました。先生のご活躍があったからこそ、日本でも異文化コミュニケーション研究を続ける環境が作られてきたと感じています。尊敬する偉大な先輩がいらっしやなくなり、私としてはとても心細いというのが正直な気持ちです。またZoomパーティなどでお会いして、いろいろとお話を聞かせていただくのを楽しみにしております。これからも引き続きどうぞよろしくお願い致します。

高本 香織

# 麗澤大学英米文化研究会規約

- (1) 本会は「麗澤大学英米文化研究会」と称し、本部を千葉県柏市光ヶ丘2-1-1 麗澤大学外国語学部英語二専攻共同研究室におく。
- (2) 本会の会員は、麗澤大学において英語・英米文化の教育・研究に携わる専任教員、あるいは会員1名の推薦を受け、会長の承認を得た者とする。
- (3) 本会に会長をおき、その任期を2年とし、再任をさまたげない。なお、会長の選出は、年次総会における会員の互選とする。
- (4) 本会に副会長(1名)、理事(2名)、庶務(1名)、会計(1名)、会計監査(1名)、編集委員(若干名)をおく。任期は2年として、再任をさまたげない。なお、その選出は、年次総会における会員の互選による。
- (5) 本会の会費は年2千円とする。ただし会員が学生の場合は年1千円とする。
- (6) 本会は、英米文化、言語全般および関連分野の研究を行うことを目的とし、以下の活動を行う。
  - 1) 研究発表会  
年数回。随時発表者を決めて会員の研究発表会を行う。
  - 2) 年次総会  
年1回(6月の土曜日)。内外より講演者を招き、特別講演会を開催する。
  - 3) 機関誌『麗澤レビュー』の発行

## 付 則

- (1) この規約は、平成16年6月12日から改正、施行する。
- (2) この規約は、平成22年6月26日から改正、施行する。
- (3) この規約は、平成23年6月11日から改正、施行する。

令和3年9月30日発行

発行者 〒277-8686 柏市光ヶ丘2-1-1  
麗澤大学外国語学部  
麗澤大学英米文化研究会  
email: reitakusocietyeac@gmail.com



Cover Design  
by T. Murakami

Reitaku Society for  
English & American Cultures